

新商品やサービスPR

松江商議所 など連携協 合同プレス発表会

松江商工会議所と松江市内の3商工会で構成する「松江地区商工会・商工会議所連携協議会」(会長・古瀬誠松江商議所会頭)が19日、同市内で会員企業を



吉賀町産のコメをPRする藤本米穀店の藤本真由専務(左から3人目)と松江市母衣町、松江商工会議所

集めた合同プレス発表会を開いた。食品製造業など9社が、新発売の商品やサービスをアピールした。中小規模事業者とマスコミとの接点を作り、記事や

れたという。

今回は出席した新聞社やテレビ局計9社の記者に対し、会員企業の担当者が5分間の持ち時間で発表した。後、展示ブースで商品やサービスを紹介。土産物として需要を見込み、島根県産のもち米を使って商品化した紅白団子や空き家の管理サービスなどをPRした。

このうち、平野伍詔(松江市中原町)は、宍道湖産のMサイズのシジミを使用した即席汁を宣伝。外装をお守り袋の形としたほか、県の観光キャラクター「しまねっこ」をデザインに採用し、担当者は「結婚式や縁結びイベントでのギフトに最適」と訴えた。

藤本米穀店(同市東本町

3丁目)は、全国コンクールで特別優秀賞を受賞した、同県吉賀町産の清流米「注連川の糧」を紹介。藤本真由専務は「島根に良い米がたくさんあることを伝えたい」と話した。